

令和6年度  
事業計画書



社会福祉法人草津市社会福祉協議会



## 1. 基本方針

令和5年度は、地域活動に大きく影響を与えた新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5月に変更され、市民生活も徐々に以前の生活へと戻ってまいりました。

しかし、コロナ禍が地域の事業や活動に与えた影響は大きく、休止や縮小を余儀なくされた事業や活動は、すぐに元のように戻せるものではなく、しばらく時間がかかることが見込まれます。

さらに、コロナ禍により顕在化した地域福祉の課題もあり、新たな課題への取組も含めて事業を進めていく必要があります。

このような中、草津市社会福祉協議会では、令和6年度に第4次地域福祉活動計画(令和4年度から5カ年計画)の3年目を迎え、計画の達成に向けた着実な事業への取組が求められています。

令和6年度の予算においては、計画の達成に向け地域住民の創意や主体性を源として、地域の様々な活動が活性化し、コロナ禍で得られた教訓を生かした活動が生まれ、活性化していくように支援を行っていくことも必要です。

その中で、社協活動の原点である地域の生活課題に気づき、あらゆる機会を活用し、地域住民ができることから活動を始める気運を高める支援を、市社協は進めてまいります。

また、コロナ禍以降も続く生きづらさを抱える当事者の声も、相談業務などを通じて受けとめ、重層的な個別支援へつなげるなど、関係機関との連携強化を図るとともに、行政と情報共有を図り連携しながら、地域住民による見守りや、ボランティアの輪を広げる取組を進めてまいります。

一方、活動に必要な財源である会費や共同募金配分金収入は、年々減少しています。コロナ禍による影響に加え、物価の高騰など経済状況が大きく変化している中、令和6年度の活動資金は更に減少することが見込まれます。

このような中、令和6年度は、補助事業や受託事業等を計画的に進めながら、既存事業の見直しを行い、限られた財源の有効活用を図るとともに、住民主体の地域福祉活動推進の伴走者として、市社協活動を進めてまいります。

# I.住民主体の福祉のまちづくり

## ～参加と協働の地域福祉活動の推進～

### 基本目標 1 福祉の風土づくり

～福祉の風土を広げ、地域のくらしの課題を他人ごととしない、地域福祉力の向上をめざします～

福祉教育や啓発活動の充実に取り組み、尊重され、くらしの課題を他人ごととしない福祉の風土を広げ、課題を受け止め支え合いの活動を進めます。

#### (1) 地域福祉に関する新たな周知啓発方法の開発 **重点**

見える社協、魅せる社協活動をめざして積極的な広報啓発を行い、住民への周知・啓発を行うことで、地域の取組に関心をもつ人を増やし、地域の福祉力アップを図ります。

(単位:千円)

事業・項目	内容	予算	財源
市社協広報紙 「社協くさつ」発行	市社協事業をはじめ、ボランティア活動や地域の福祉活動に関する情報を発信するために、「社協くさつ」を年4回発行し、市内の全世帯と賛助会員に配布します。	3,089	会費
市社協 ホームページ運営	市社協・学区社協やボランティアなどによる様々な活動の情報をお届けできるよう、タイムリーで見やすいホームページ運営に取り組みます。	283	会費
近所力アップ講座	職員が「身近な福祉の専門職」として地域に出向き、住民同士の日頃からのつながりや、住民の皆さんとともに取り組む地域福祉活動の大切さを語りあいます。市社協ならではの講座の企画に取り組み、新たに子どもを対象とした講座づくりを進めます。	9	会費
「広報くさつ」 点字版作成・配付	視覚障害者への支援として、毎月「広報くさつ」の点字版を作成し、希望される人に配付します。	391	市受託

<関連する事業>

- ・福祉教育の推進
- ・市社協キャラクター「ふくちゃん」啓発

**(2) 若い世代に福祉風土を広げる**

特に若い世代を対象に、福祉教育やボランティアのきっかけづくりに取り組むことで、小さいときから福祉を身近に感じてもらい、若年層の福祉風土を広げていきます。

事業・項目	内容	予算	財源
社会福祉功労者等表彰式典	長年活躍されている地域福祉活動者やボランティア活動者、福祉活動を推進している学校等の功績を称え表彰します。また、社会福祉の向上のため御寄付いただいた個人や団体に感謝の意を表します。	293	会費
若い世代のボランティア活動活性化事業【新規】	若い世代が、イベントの企画段階から運営ボランティアとして参画できる機会を提供することにより、活動意欲を成功体験につなげ、ボランティア意識の向上、ボランティア活動の魅力発見、およびボランティア人材の確保につなげます。	80	ボラ基金
福祉教育の推進	「ボランティア学習のてびき」を活用し、子どもたちの福祉に対する考え方や豊かな心の育ちにつながるよう支援します。また、子どもたちの福祉への理解を進めるために、福祉学習機材の貸出やボランティア派遣を行い、より充実した学習につながるような支援を実施します。	14	ボラ基金

## &lt;関連する事業&gt;

- ・近所力アップ講座
- ・市社協キャラクター「ふくちゃん」啓発
- ・ボランティア活動支援事業

**(3) 住民どうしが互いに見守り・気かけあう関係を広げる**

住民どうしがつながり合い、お互いを見守り・気かけあう関係をつくることで、日々の生活や地域の困りごとに気づく人を増やし、地域の福祉力の向上に努めていきます。

事業・項目	内容	予算	財源
チューリップ事業 (つながりサポート 事業)	貧困・孤独・孤立により不安を抱える女性が、社会の絆・つながりを回復することができるよう、生理用品や食料品の提供を通じて、対象者を必要な相談窓口や各種サービス、または民生委員・児童委員等の地域の支援者につなげます。また、行政等の関係機関や協力企業を交えて連絡会議や研修会を実施し、連携体制の強化を図ります。事業は、施策連携・公民連携・地域連携の3連携により進めます。	3,591	市受託
社会を明るくする 運動	地域住民の犯罪防止と、更生保護に対する一層の理解を深めるため、関係機関・団体・学校が協働して運動を展開します。	125	市受託
地域サロン活動 支援	高齢者の見守り活動の推進や、介護予防と自立を促進するため、地域サロン活動費を助成します。また、地域サロン活動の担い手の育成、様々な相談に応じる地域サロン支援員の配置、地域サロンへの訪問活動や交流会などを通して、相談支援活動の拡充をめざします。	8,410	市補助

## &lt;関連する事業&gt;

- ・近所力アップ講座
- ・福祉委員設置促進
- ・ボランティア活動支援事業
- ・市社協事業協力ボランティア育成講座

## 基本目標2 住民主体の活動づくり

～地域の困りごとを話し合い、未来に向けた人づくり・活動を考える～

くらしの課題を共有し、課題の解決に向けての地域福祉力向上を図るため、人づくりと支えあう体制づくりを進めます。

### (1) 小学校区を基盤とした地域福祉力の向上

身近な地域の集まりである町内会が所属する小学校区を、重要な地域のまとまりとして据え、小学校区の地域の特徴を踏まえた上で、地域福祉力の向上と住民主体の地域福祉活動の発展のため、その基礎をなす人づくり、支えあう体制をつくりまします。

#### (1-1) 地域福祉活動の担い手づくり **重点**

地域福祉を推進するため、各学区の地域福祉活動の基礎となる人づくりを、より一層進めます。

事業・項目	内容	予算	財源
草津市福祉教養大学・大学院の開催	「草津市福祉教養大学」と銘打って、地域福祉活動の担い手不足という現状を打破するために、幅広い分野から講師をお招きし、住民の心に響く斬新なテーマの講座を開催します。また、「草津市福祉教養大学大学院」と銘打って、今日までの大学卒業生を対象とした交流の場を設け、卒業生同士でのつながりづくりや情報交換を通じて、参加者の活動意欲向上や、地域福祉活動の担い手の創出・育成を図ります。	778 72	市補助 会費
地域福祉活動助成	地域の支えあい活動を推進するため「福祉の土壌づくり」、「活動の担い手づくり」、「個別援助活動」、「地域福祉関係者との交流」を進める学区社協を支援します。	3,220 910 420	共募 ボラ基金 自主
福祉委員設置促進	「福祉委員の手引き」を用いて、学区社協との協働による学習会等を開催することにより、福祉委員活動の活性化を図ります。地域福祉活動人材を育成するため、コミュニティボランティアの視点を盛り込んだ研修会を実施します。	153	市補助

#### <関連する事業>

- ・生活支援体制整備事業(地域支えあい推進員による学区支援)
- ・地域福祉コーディネーターによる学区社協支援
- ・草津市福祉教養大学院卒業ボランティアグループ応援助成金

**(1-2) 地域で支えあう仕組みづくり** 重点

くらしの課題を共有し、課題の解決に向けた地域福祉活動を進めていくことで、地域で支えあう仕組みを推進します。

事業・項目	内容	予算	財源
生活支援体制整備事業(地域支えあい推進員による学区支援)	地域における包括的な支え合い活動を推進するため、多様な活動団体・事業者等が連携・協議し、様々な日常生活上の支援体制づくりを進めるとともに、高齢者の社会参加の推進を図ります。特に事業推進の核である「医療福祉を考える会議」は、市内全学区で取り組めるよう、行政・地域包括支援センターと連携し、実施学区への継続支援および未実施学区への立上げ支援を行います。	22,308	市受託
地域支え合い運送支援	住民の主体的な支え合い活動が推進されるよう、学区社協やまちづくり協議会が実施する移動困難者の運送支援事業を支援します。また、送迎ボランティアを対象として安全運転講習会を開催します。 ※実施学区 …志津南学区、老上学区・老上西学区、南笠東学区、山田学区	495	市補助
草津フードバンクセンター設置	生活に困窮している世帯や、住民同士の支え合い活動を実施する団体に対して、草津フードバンクセンターに寄せられた食糧を無償提供します。食糧提供の作業は、フードバンク協力ボランティアとともに行います。本事業の活動内容である、社会や地域福祉活動への貢献度を積極的に発信することにより、企業や個人の協力を得ながら善意の循環システムを構築します。	99 99	市補助 善銀
子どもの居場所支援事業【新規】	草津市が推進する市内の子どもの現状把握や居場所づくりの取組と連携し、子どもの居場所(子ども食堂など)が安定的に確保されるよう、実施回数に応じた補助金を交付します。	420	市補助
介護予防事業支援	市老人クラブ連合会が実施する事業を支援します。	72	共募

事業・項目	内容	予算	財源
障害児者介護者リフレッシュ支援	肢体不自由児者父母の会が中心となり実施する事業を支援します。	38	共募
知的障害者社会参加自立支援	草津手をつなぐ育成会が中心となり実施する事業を支援します。	40	共募
中途視覚障害者支援	市視覚障害者協会が実施する事業を支援します。	8	共募
いきいきふれあい大運動会助成	市心身障害児者連絡協議会が実施する事業を支援します。	38	共募
草津栗東保護司会活動支援	草津支部保護司会が実施する事業を支援します。	50	共募
歳末子ども支援事業助成	年末年始時期に、子ども等を対象にした事業を行う学区社協等に対して、支援金の助成を行います。	150	共募
福祉機器リサイクル(貸出事業)	不要になった福祉機器のリサイクルを促進するとともに、一時的に車いす等が必要となる人に車いす等を貸出します。	156	市受託

## &lt;関連する事業&gt;

- ・地域福祉コーディネーターによる学区社協支援
- ・高齢者への電話訪問事業
- ・福祉車両貸出

**(1-3) 住民福祉活動計画の推進**

地域住民と市社協がともに、同じ理念のもと、地域福祉活動に取り組めるよう、各学区の課題を把握しながら、住民福祉活動計画を策定し、未来に向けた地域福祉の推進を図ります。

事業・項目	内容	予算	財源
地域福祉コーディネーターによる学区社協支援	学区社協とともに各学区の地域課題を把握し、課題解決へ向けた地域福祉活動の推進を図ります。	49,065	市補助

## &lt;関連する事業&gt;

- ・生活支援体制整備事業(地域支えあい推進員による学区支援)

## (2) ボランティア活動の充実と住民参加の仕組みづくり

住民どうしがふれあい、いきいきと楽しく活動できるボランティア活動を広めていくため、多種多様なニーズをつかみ、ボランティア活動につなげていくことで、ボランティア活動の充実を図ります。また、誰もが参加できるボランティアの仕組みづくりを進めることで、ボランティアの輪を広めます。

### (2-1) 若い世代のボランティア活動のきっかけづくり **重点**

ボランティアの高齢化が進む中、若い世代にボランティア活動に関心をもってもらい、ボランティア活動に参加してもらえるよう、ボランティアの魅力発信や、子どもや保護者が参加しやすいボランティア活動を広げる等、きっかけづくりを進めます。

事業・項目	内容	予算	財源
収集ボランティア啓発	ボランティア活動のきっかけとなるよう、身近なボランティア活動である収集ボランティア※の推進に取り組み、ボランティア意識の高揚に努めます。学校、地域、関係機関への周知や、イベント等での啓発活動を行います。 ※使用済み切手、ペットボトルキャップ、プルトップの収集など	38	ボラ基金
若い世代のボランティア活動活性化事業【新規】	(P4 参照)	80	ボラ基金

<関連する事業>

- ・ボランティアセンターの運営と機能強化
- ・災害ボランティアセンター
- ・市社協事業ボランティア育成講座
- ・共同募金活動助成
- ・ボランティア活動支援事業
- ・福祉教育の推進

**(2-2) 新たなボランティア発掘の仕組みづくり** **重点**

ボランティアの魅力を知り、ボランティアに関心をもつ人を増やしていく仕組みづくりを進めることで、さらなるボランティアの輪を広めます。

事業・項目	内容	予算	財源
草津市福祉教養大学院卒業ボランティアグループ応援助成金	草津市福祉教養大学院生・卒業生が立ち上げるボランティアグループに対して助成金を交付し、継続的な活動を支援します。(1団体10,000円)	50	ボラ基金
ボランティア活動活性化助成金	ボランティアセンター登録している団体に対して助成金を交付し、新団体の立ち上げや、既存団体の活動を継続、拡大を支援します。(1団体5,000円)	600	ボラ基金
ボランティアセンターの運営と機能強化	イベントや講座を通して、身近なボランティア活動の周知・啓発を行い、趣味や特技がボランティアにつながるきっかけづくりを進め、誰もが気軽にボランティア活動に参加できる仕組みをつくります。ボランティア活動の相談を行い、活動への参加・継続を支援します。 また、ボランティアセンター登録を促進するためにセンターの魅力発信に努めます。	194	ボラ基金
ボランティア活動支援	住民の皆さんがボランティア活動にふれられる場として「ボランティアマルシェ」を開催します。住民に対するボランティア活動の啓発にとどまらず、ボランティア団体の活動活性化や、来場者とボランティアの交流を通じて人と人のつながりづくりを推進します。また、高校生・大学生に対してイベント運営ボランティアとしての参加を呼びかけ、若い世代のボランティア意識・福祉意識の向上に取り組みます。	232 232	市補助 ボラ基金
ボランティアグループリスト作成	ボランティア団体、地域サロン団体のリストを作成し、住民に周知して活用してもらうことにより、ボランティアニーズのマッチングや各団体の活動活性化を図ります。	225	ボラ基金

## &lt;関連する事業&gt;

- ・収集ボランティア啓発
- ・草津フードバンクセンター設置
- ・福祉教育の推進
- ・若い世代のボランティア活動活性化事業
- ・災害ボランティアセンター

## (2-3) 誰もが参加できるボランティアの仕組みづくり

誰もが参加でき、いきいきと楽しく活動できるボランティア活動の仕組みと、参加した人が社会貢献を実感してもらえる仕組みづくりを進めます。

事業・項目	内容	予算	財源
高齢者への電話訪問	65歳以上のひとり暮らし高齢者や、昼間独居となる高齢者を対象として、傾聴ボランティアによる電話訪問を実施します。電話訪問により、高齢者の孤立・孤独を防ぐとともに、認知症を予防し、日常生活を安心して送れるよう支援します。	129	善銀
災害ボランティアセンター	有事の際に効果的なボランティア活動が推進できるよう、災害ボランティアセンター運営に関する訓練や研修を実施し、災害対応力の向上に努めます。また、センター運営協議会構成団体やセンター運営ボランティア、協定締結者(草津青年会議所)との連携のもと、センター運営に必要な体制の確保や、センターの取組についての周知啓発に取り組みます。	100 103	市補助 ボラ基金
草津フードバンクセンター設置【再掲】	(P7 参照)	99 99	市補助 善銀

## &lt;関連する事業&gt;

- ・ボランティアセンターの運営と機能強化
- ・福祉教育の推進
- ・ボランティア活動支援
- ・ボランティアグループ活動助成
- ・草津市ボランティアセンター施設利用助成
- ・収集ボランティア
- ・若い世代のボランティア活動活性化事業
- ・ボランティアグループリスト作成
- ・市社協事業協力ボランティア育成講座

### 基本目標3 新たな絆をつむぐまちづくり

いきいきと楽しく活動する場と、活動する人たちの輪を広げるため、地域や福祉という分野にとらわれず、多種多様な新たなつながりづくりを進めていきます。

#### (1) 地域を超えたつながりづくり

小学校区内にとどまらず、地域で活動する人たちのつながりをつむぎ、小学校区内という地域を超えたつながりを進め、活動の輪を広めます。

事業・項目	内容	予算	財源
ボランティア連絡協議会助成	ボランティア連絡協議会活動を支援します。	48	共募
ボランティア連絡協議会加入促進	ボランティア連絡協議会の加入を促進するため、ボランティア活動保険料の一部を助成し、ボランティア連絡協議会への加入を促します。	70	ボラ基金
福祉車両貸出	外出が困難な高齢者や障害者のため、福祉車両を貸出するとともに送迎ボランティアの支援が必要な場合は利用調整を行います。また、送迎ボランティアを対象とした安全運転講習を実施します。	876	会費
社会福祉法人との連携	草津市内の社会福祉法人との連絡会議を開催し、地域の現状や課題を共有するとともに、法人間で連携して実施できる公益的な取組などについて検討します。	123 249	市補助 会費

#### <関連する事業>

- ・ボランティアセンターの運営と機能強化
- ・ボランティアグループリスト作成
- ・地域福祉コーディネーターによる学区社協支援
- ・生活支援体制整備事業(地域支えあい推進員による学区支援)

**(2) 分野を超えたつながりづくり** **重点**

福祉にとどまらず、地域の企業や学校、各種団体などをつなぎ、連携を図ることで、地域の課題や地域の活動について協働で行う取組を進めます。

事業・項目	内容	予算	財源
善意銀行事業	市民の善意の寄付などを財源として、下記の事業を実施します。善意銀行事業について広く啓発に取り組み、善意の寄付を募ります。 (実施している関連事業) ・生活つなぎ資金の貸付 ・高齢者への電話訪問事業 ・フードバンクセンター事業 など	50	善銀
社会福祉法人との連携 【再掲】	(P12参照)	123 249	市補助 会費

## &lt;関連する事業&gt;

- ・生活支援体制整備事業(地域支えあい推進員による学区支援)
- ・ボランティア連絡協議会助成
- ・ボランティア連絡協議会加入促進
- ・草津フードバンクセンター設置
- ・ボランティアセンター運営と機能強化

## Ⅱ.市社協が取り組む福祉の基盤づくり

### ～地域福祉活動発展計画～

#### 基本目標

住み慣れた地域で安心して暮らしつつづけることができる体制づくり

#### (1) 地域福祉活動支援の推進

学区社協をはじめとする地域で活動する人や団体の支援を行うことで、地域福祉活動を活性化し、誰もが安心して暮らせる体制をめざします。

##### (1-1) 学区社協をはじめとした地域福祉活動支援 **重点**

地域福祉の推進に欠かせない学区社協をはじめ、地域で活動する団体等に地域福祉のプラットフォームとしての役割を発揮し、ともに地域福祉活動を展開します。

事業・項目	内容	予算	財源
学区社協会長会	学区社協会長の情報交換や研修会等を実施し、福祉でまちづくりを推進する会議を年10回程度開催します。また、年に2回学区社協事務局長会議を開催し、学区社協事務局支援体制の強化を図ります。各学区の特徴や学区社協の活動状況をまとめた学区社協便覧を作成し、学区社協活動の啓発を図ります。さらに、民間の助成事業等を継続的に案内し、学区社協活動継続のための財源確保を支援します。	548	会費
第4次地域福祉活動計画の推進	地域福祉活動計画策定委員会を開催し、第4次計画の進捗管理・評価を行います。	140 142	市補助 会費
地域福祉コーディネーターによる学区社協支援【再掲】	(P8 参照)	49,065	市補助

#### <関連する事業>

- ・生活支援体制整備事業(地域支えあい推進員による学区支援)
- ・地域福祉活動助成

### (1-2) 小地域福祉活動における民生委員・児童委員との連携

地域の身近な相談相手である民生委員・児童委員との連携・活動支援とともに、地域住民の困りごと等を地域の課題として捉え、新たな事業構築などの地域福祉の推進につなげます。

事業・項目	内容	予算	財源
草津市民生委員児童委員協議会事務局	事務局担当の職員を配置し、毎月1回総務会、必要に応じ総務委員会を開催します。また、5部会2委員会1連絡会をはじめとした民児協活動が活発に機能するように支援します。 さらに、職員の学区担当制により情報提供やアドバイスをを行うなど、個別援助活動が円滑にできるよう、民生委員・児童委員活動に支援・協力をします。	別途	別途

<関連する事業>

- ・地域福祉コーディネーターによる学区社協支援
- ・生活つなぎ資金
- ・生活福祉資金

### (1-3) ボランティアセンターの機能強化 重点

ボランティアニーズの把握や、マッチング機能、ボランティアの養成や魅力のPR等、ボランティアセンターとして必要な機能を強化し、ボランティアセンターがより一層ボランティア活動の拠点となるよう取り組みます。

事業・項目	内容	予算	財源
ボランティアセンターの運営と機能強化 【再掲】	イベントや講座を通して、身近なボランティア活動の周知・啓発を行い、趣味や特技がボランティアにつながるきっかけづくりを進め、誰もが気軽にボランティア活動に参加できる仕組みをつくります。ボランティア活動の相談を行い、活動への参加・継続を支援します。 また、ボランティアセンター登録を促進するためにセンターの魅力発信に努めます。	194	ボラ基金

<関連する事業>

- ・地域福祉コーディネーターによる学区社協支援
- ・ボランティア活動支援
- ・収集ボランティア啓発
- ・市社協ボランティア育成講座
- ・草津市福祉教養大学卒業ボランティアグループ応援助成金
- ・草津市ボランティアセンター施設利用助成
- ・ボランティア連絡協議会助成
- ・若い世代のボランティア活動活性化事業
- ・ボランティアグループリスト作成
- ・災害ボランティアセンター
- ・ボランティア連絡協議会加入促進

**(1-4) 企業等との連携・ネットワークの構築**

企業や学校、福祉事業所等、地域にある様々な団体等と、市社協が率先して連携を図り、かつ地域福祉活動の魅力などを情報発信していくことで、様々な団体と地域活動が連携を図るきっかけとし、様々なネットワークの構築へつなげます。

事業・項目	内容	予算	財源
市社協会員の拡大	学区社協と連携して社協会員制度の啓発に取り組み、福祉の観点から住民・企業がまちづくりへ参画する機運を高めます。 ○一般会費 …世帯単位で社協への参画を促進します。 ○賛助会費 …企業単位で社協への参画を促進します。 賛助会費のうち55%を学区社協へ助成します。	(収入) 一般会費 4,759 賛助会費 2,992	会費
草津市社会福祉協議会設立70周年記念事業【新規】	草津市社会福祉協議会が令和7年度に設立70周年を迎えるにあたり、令和7年度に記念事業が実施できるよう、企画調整を行います。	579	自主
社会福祉法人との連携【再掲】	(P12 参照)	123 249	市補助 会費

## &lt;関連する事業&gt;

- ・地域福祉コーディネーターによる学区社協支援
- ・草津市民生委員児童委員協議会事務局
- ・ボランティアセンターの運営と機能強化
- ・チューリップ事業(つながりサポート事業)
- ・生活支援体制整備事業(地域支えあい推進員による学区支援)

**(2) 個別援助活動の充実**

貧困・孤立・孤独等を防ぎ、相談内容を受け止めることができる相談体制を構築しつつ、様々な関係団体と連携を図ることで、住民に安心を届けます。

**(2-1) 包括的な相談体制の構築** 重点

- 心配ごと相談所の周知・啓発を強化し、すべての人の相談に対応します。
- 生活福祉資金貸付をはじめ、個々の問題を受け止められる相談者として、研修に参加する等、職員の相談能力の向上を図り、相談体制を強化します。
- 民生委員・児童委員をはじめ、人とくらしのサポートセンター等の各種相談機関との連携を強化し、相談を受け止め、切れ目のない支援が行える体制づくりを進めます。

事業・項目	内容	予算	財源
生活つなぎ資金貸付	一時的に生活困難に陥った世帯に、生活のつなぎとして資金を貸付し、健康で安心できる生活の維持と自立の助長を図ります。	2,313	善銀
生活福祉資金貸付	経済的に困っている人に、県社協の生活福祉資金の貸付相談や貸付手続きを行います。また、県社協から受託した特例貸付利用者フォローアップ事業について、利用者に寄り添い、民生委員・児童委員とともに相談・償還指導を行います。	28,318	県社協受託
心配ごと相談所開設と相談員連絡会の開催	住民の皆さんの身近な相談窓口として「心配ごと相談所」を開設します。また、相談員間で情報交換を行うために連絡会を開催します。	838 891	市補助 会費
歳末たすけあい見舞金の配付	経済的に困っている世帯に、民生委員・児童委員と連携して見舞金を配付します。また、障害者福祉施設、団体等へ見舞金を配付します。	4,705	共募
緊急食糧支援事業	一時的・緊急的に支援を必要とする世帯に、食糧を支給します。	80	共募
チューリップ事業 (つなぎサポート事業) 【再掲】	(P5 参照)	3,591	市受託

<関連する事業>

- ・各種事業推進に係る関係機関との連携強化
- ・地域福祉権利擁護事業の推進

## (2-2) 地域福祉権利擁護事業の充実

- 生活支援専門員、生活支援員の力量を向上させ、利用者が安心して生活を送れるようにしていきます。
- 金銭の入出金等に係る事務処理をより厳格なものとし、利用者の財産保全を確実なものとしめます。
- 地域包括支援センターや生活保護担当部署等、関係機関との連携をより強化し、利用者の課題に対してチームで取り組みます。
- よりわかりやすい広報誌やパンフレット、ホームページでの啓発、また出前講座を実施し、本事業への理解を深める取組を進めます。

事業・項目	内容	予算	財源
地域福祉権利擁護事業の推進	判断能力が充分でないため福祉サービス利用手続きや金銭管理に不安がある人を対象として、地域福祉権利擁護事業による支援を実施するとともに、事業の啓発に取り組みます。特別な支援が必要な方については、専門機関と連携しながら、きめ細かな支援を行います。また、業務に従事する専門員や生活支援員を対象とした研修会の実施や、県社協主催研修の受講を通じて、従事者のスキルアップに努めます。	837 653 3,527 500	会費 市補助 県社協補助 利用料

### <関連する事業>

- ・各種事業推進に係る関係機関との連携強化
- ・近所力アップ講座
- ・市社協ホームページ運営
- ・市社協広報紙「社協くさつ」発行

## (3) 市社協の基盤強化

地域福祉活動を安定的・継続的に進めることができるよう、市社協事務局の体制を築くため、必要な財源の確保や、職員の育成に努めます。

### (3-1) 地域福祉活動推進に要する財源確保 重点

- 「見える社協、魅せる社協活動」について企業等へPRすることで、地域福祉活動を応援してくれる賛助会員を増やし、加入促進を図るとともに、市社協会費制度への理解と協力を広げます。
- クラウドファンディングや目的を明確にした寄付金の提案等、新たな財源確保の方策を検討します。
- 市内の地域福祉活動へ助成を行っている赤い羽根共同募金運動を盛り上げることで、財源確保につなげます。

事業・項目	内容	予算	財源
ボランティア基金の運用、寄付金の募集	ボランティアセンターの運営、ならびに多様なボランティア活動や地域福祉活動の振興を図るために、寄付金募集の呼びかけを行います。また、賛助会員に対して寄付募集を呼びかけ、協力を依頼します。	(収入) 922	ボラ基金
「社協くさつ」「ホームページ」有料広告の拡大	広報紙「社協くさつ」およびホームページのバナー広告についての掲載募集を呼びかけ、財源確保に努めます。	(収入) 75	自主
寄付付き名刺の販売	売上の一部が当会へ寄付される「寄付付き名刺」をNPO法人アイ・コラボレーションと協働で販売し、寄付金の増収を図ります。	(収入) 3	自主
共同募金運動の推進	民間福祉事業の振興を図るために、10月から12月まで全国で展開される「赤い羽根共同募金運動」を推進します。共同募金活動(赤い羽根・歳末たすけあい)について地域や住民の団体等に広く呼びかけ、地域福祉推進に関する理解と募金への協力を求めます。	別途	別途
赤十字事業の推進 (日本赤十字社滋賀県支部草津市地区事務局)	日本赤十字社の会員募集や赤十字活動の普及に取り組むとともに、赤十字の活動を支える草津市赤十字奉仕団の活動を地区事務局として支援します。また、必要に応じて国内義援金、海外救援金の受付を行います。	別途	別途
善意銀行事業 【再掲】	(P13 参照)	50	善銀
市社協会員の拡大 【再掲】	(P16 参照)	(収入) 一般会費 4,759 賛助会費 2,992	会費

**(3-2) 事務局体制の強化**

- 役職員等に対しての地域福祉研修会などを実施し、社会変化に応じた社協運営ができるよう努めます。
- 全職員のスキルアップをはかり、地域福祉コーディネート機能を発揮できるよう努めます。
- 事業の効果等確認し、継続する事業や見直す事業を明確にし、より地域のニーズにあった事業への更新等を行います。
- 「草津市社会福祉協議会職員行動原則」にのっとり、常に使命感をもち、信頼される社協づくりを進めます。

事業・項目	内容	予算	財源
社会福祉援助技術 現場実習	福祉人材の育成に寄与できるよう、社会福祉士国家試験受験資格の取得をめざす学生を、実習生として受け入れます。	(収入) 85	自主
第三者委員会の設置	市社協事業の信頼性の確保および適正な事業実施のため、第三者委員会を設置します。	1	自主
理事会・評議員会の運営	役員体制の強化および透明性のある組織運営を図ります。	1,087	自主
職員研修、職員会議の開催	人権意識やコンプライアンスをはじめとした職員の資質向上に関するテーマや、地域福祉コーディネートのスキルアップにつながる内容により、職員研修を実施します。また、業務進捗や各種情報の共有、業務上の課題解決のために職員会議を開催します。このほか、社会福祉の動向等についての意見交換や、各事業の担当者会議を随時実施することにより、職員間の連携強化を図ります。	100	自主
関連団体と役員研修	滋賀の地域福祉活動の推進に関する情報交換や役員研修の機会として活用できるよう、積極的に参加します。 ・滋賀県社会福祉協議会会費 ・滋賀県市町社会福祉協議会会長会会費 ・湖南地域社会福祉連絡協議会会費 ・滋賀県社協縁特別会員会費	1,156	自主